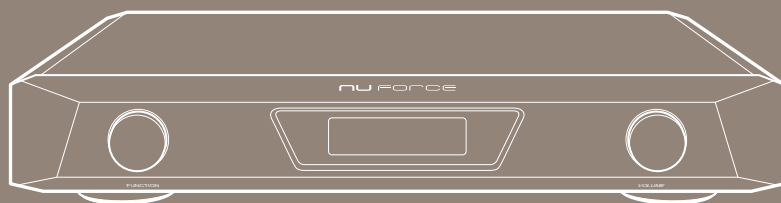


NuForce

AVP-18

AV プロセッサ



ユーザーマニュアル
ATAVPGB

 **Optoma**

FCC 通知 - 適合情報の宣言

本装置は、FCC 規則パート 15 に準拠するクラス B デジタル装置の制限に対して試験され、準拠していることが確認されています。これらの制限は、住宅に設置する際、有害な干渉を防止する適切な保護を提供するように設計されています。本装置は、無線周波エネルギーを使用しており、放射する可能性があります。また、指示に従って設置および使用しなかった場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。

ただし、特定の設置条件で干渉が発生しないという保証はありません。本装置が、装置のオフとオンを切り替えることによって決定することができるラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を起こす場合、ユーザーは以下の一つまたは複数の方法で干渉を是正してください。

- 受信アンテナの向きや位置を変える。
- 装置と受信機の距離を離す。
- 受信機が接続されているものとは異なる回路のコンセントに装置を接続する。
- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談する。

警告: FCC クラス B の制限に準拠する周辺機器のみを本装置に取り付けることができます。

当社または当社が許可した当事者により明示的に承認されていない本装置に対して行われた変更または修正により、ユーザーの本装置を操作する権限が無効になる恐れがあります。本装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に従うものとします。(1) 本装置は有害な干渉を発生することはない、そして、(2) 本装置は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信したすべての干渉を受け入れなければならない。

はじめに

熱心な AV 愛好家のための完全にカスタマイズ可能な機能を持つハイエンドなオール デジタル プリアンプ プロセッサ。

NuForce AVP-18 オール デジタル HT プリアンプ/プロセッサは、熱心な AV 愛好家に 24/192 デジタル オーディオ性能と優れた HD ビデオを驚異的な価格で提供します。4 つの HDMI 入力。2 つの光および 2 つの同軸 S/PDIF 入力を装備する AVP-18 は、簡単な最も複雑なシステム構成に対応します。サポートするデジタル オーディオ形式には以下を含みません:

- DTS-HD マスター オーディオ
- DTS Neo:6
- ドルビー TrueHD
- ドルビー プロ ロジック lix
- ドルビー プロ ロジック liz

可能な限り最良のデジタル・アナログ変換 (DAC) 性能に焦点を合わせるために、AVP-18 は、デジタルソースのみを受け入れます。このようにして、DAC および次のアナログステージに NuForce のハイエンド オーディオ DAC で利用される革新的な技術を含めることができます。さらに、AVP-18 は、AVP-18 の自然のままの明瞭さに貢献する、高精度のアナログ音量制御と優れた品質の RCA 出力コネクタと共に、オーディオ愛好家グレードのアナログ回路を提供しています。ヘッドフォン愛好家のために、本装置は、標準 2 チャンネルおよびドルビー サラウンド受聴を提供するヘッドフォン出力を備えています。

多くの類似するプロセッサとは異なり、AVP-18 での HDMI 入力間の切り替えは、滑らかで正確です。HDMI 出力および全ての 4 つの HDMI 入力は、3-D、CEC および SRC をサポートする HDMI1.4 に完全に準拠しています。柔軟性における決定的なことは、AVP-18 は、ご利用のテレビから ARC 入力を受け入れることです。実際、AVP-18 には、ここですべてを網羅することはできないくらいの機能が満載されています。(詳細情報は、以下の特長セクションを参照してください。)

通常ユーザー向けの簡単な初期セットアップを提供する一方で、AVP-18 は、要求の厳しいオーディオ愛好家向けに、高精度に性能をカスタマイズするために必要なすべての制御を提供しています。開始するには、ご利用のデジタルソースを接続し、校正マイク (付属) を接続して、自動マルチチャンネルルーム補正ソフトウェアをアクティブ化して、ほとんどの部屋の典型的な不可避の音響異常を調整します。完了し、すべての設定をメモリに格納すると、最新の HD オーディオおよびビデオ メディアを現在あなたが体験している NuForce の高評価の基礎となる正確で透明かつ音楽的なサウンドでお楽しみいただけることを保証します。

AVP-18 の自動校正ルーチンにより、シンプルかつ簡単に利用を開始することができますが、熱心なオーディオ愛好家には、以下を含む一連の高度な校正により完璧を目指す機会が提供されています。

- 四重低音管理設定
- チャンネル当たり 11 通りにプログラム可能な完全パラメータ対応のエコライザー
- スピーカーの調整可能なクロスオーバー ポイント、スロープおよびアラインメント タイプ
- バランスおよびアンバランス サブウーファー出力
- フロント チャンネルのバイアンプ機能

AVP-18 を基礎として用いることで、究極のオーディオ愛好者向け HT システムを構築するための理想的な基礎を手に入れることとなります。当社の受賞歴のある基準シリーズであるモノラルブロックアンプの完全な補完であり、高い評価を得ている MCH および MCA シリーズ マルチチャンネルアンプのいずれかを追加する、あるいは、それらを組み合わせることで、真のオーディオ愛好家の映画やサウンドの宇宙に自分自身がいるように感じることができます。

付属品

- 電源コード x 1
- AVP-18 リモコン x 1
- 単 4 電池 x 2
- ルーム イコライゼーション用セットアップ マイク x 1

特長

AVP-18 は、HDMI 1.4 をサポートする最新の AV プロセッサです。

オーディオ

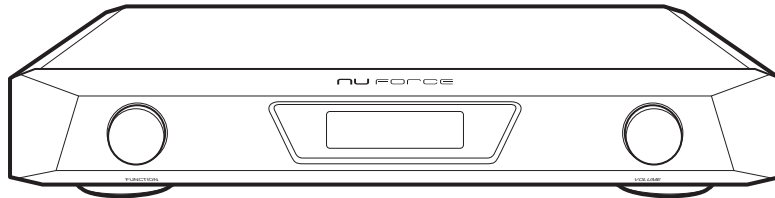
- ドルビー TrueHD、ドルビー デジタル プラス、DTS マスター、DTS ハイレゾなどを含む最新の HD オーディオ デコーディングをサポートします。
- ドルビー デジタル (EX)、DTS、DTS ES (D6.1、M6.1)、AAC 5.1、AAC 2.0、DTS 96/24 または 192K 7.1 CH PCM と互換性のある SD オーディオ デコーディング
- ドルビー プロ ロジック、DTS Neo:6 などの完全なマトリクス デコーディング機能
- インテリジェント室内音響スキャン機能
- 個別にクロスオーバー フィルター上でフロント、センター、サラウンドおよびリアスピーカーを管理するためのパワフルな低音管理機能。装置のシングル/ダブル ポスト位置決め性能を向上させます
- 11 の異なるオプションと設定のイコライザーが付属しています
- 包括的なクロスオーバー設計

ビデオ

- HDMI 1.4 入力/出力
- 4 ウェイ HDMI 入力、1 ウェイ HDMI 出力および HDMI 高速スイッチング技術
- HDMI 1080P、YUV、RGB、DVI、HD オーディオおよび 8 CH LPCM をサポート
- 3D ビデオ再生と互換
- HDMI CEC 制御と互換
- HDMI ARC オーディオ リターンに互換
- ビデオ入力互換性: HDMI/DVI、480P、576P、720P 50、720P 60、1080i 50、1080i 60、1080P 50、1080P 60、1080P 24

クイックスタートガイド

前面パネルの特長



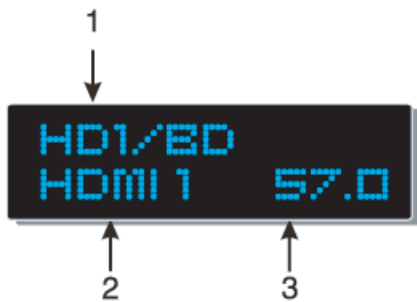
左ノブ

- ノブを回転することによる入力選択
- ノブを回転し、その後、選択確認を押すことによる OSD メニュー選択

右ノブ

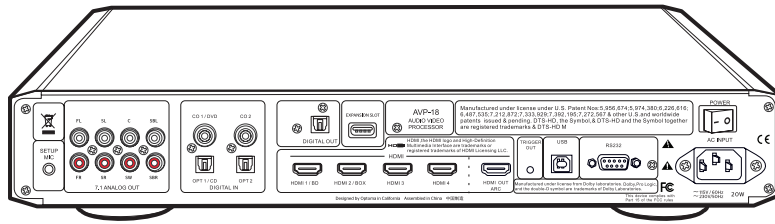
- 音量調整
- OSD メニュー オプションの選択
- 右ノブを長押しすることによる電源オン

オンスクリーンディスプレイ



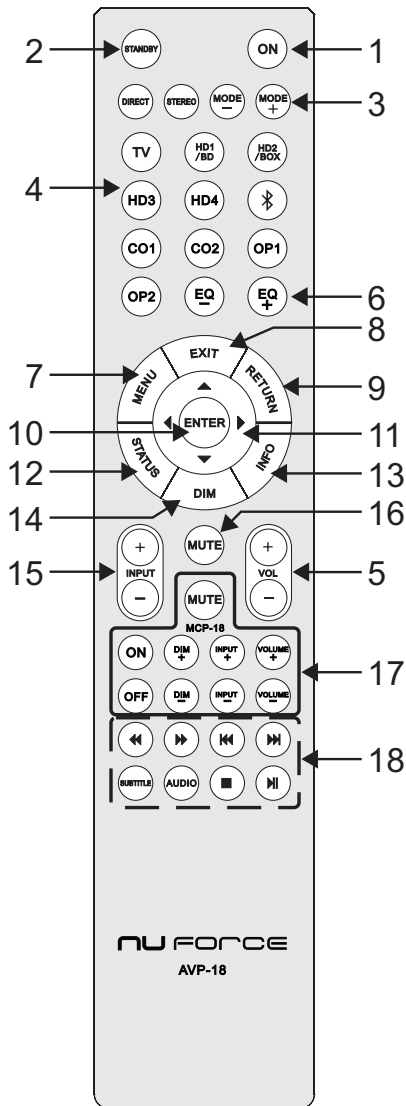
1. ビデオ入力ソース情報
(選択された入力設定、工場出荷時既定値が HDMI 1 入力に設定されていることを表示します)
2. アナログ入力ソース情報
(アナログ信号のソースを表示します)
3. 音量情報
(音量 (00.0 ~ 80.0 dB) を表示します)

背面パネル接続



- Setup Mic - インテリジェントアコースティックルーム スキャン用にセットアップ マイクを接続します
- 7.1 Analog Output - 異なる位置のスピーカーを接続します
 - FL - 前面左
 - FR - 前面右
 - LS - 左サラウンド
 - RS - 右サラウンド
 - C - センター
 - SW - サブウーファー
 - LBS - 左バック サラウンド
 - RBS - 右バック サラウンド
- Digital In - デジタル ソースを接続します
 - CO1 - 同軸入力 # 1
 - CO2 - 同軸入力 # 2
 - Opt1/CO - 光/同軸入力 # 1
 - Opt2 - 光入力 # 2
- HDMI - HDMI 入力 4 セットおよび HDMI 出力 1 セット
 - HDMI 入力 # 1
 - HDMI 入力 # 2
 - HDMI 入力 # 3
 - HDMI 入力 # 4
 - HDMI 出力/ARC
- Trigger Out - 12V/120 mA のトリガー出力、トリガー機能を使って、別なデバイスに接続するために使用します
- Digital out
- USB - AVP-18 とコンピュータ間の接続用、主に、ファームウェア アップグレードに使用されます
- RS-232 - シリアル COM ポート
- Power - AVP-18 の背面電源スイッチ

リモコン



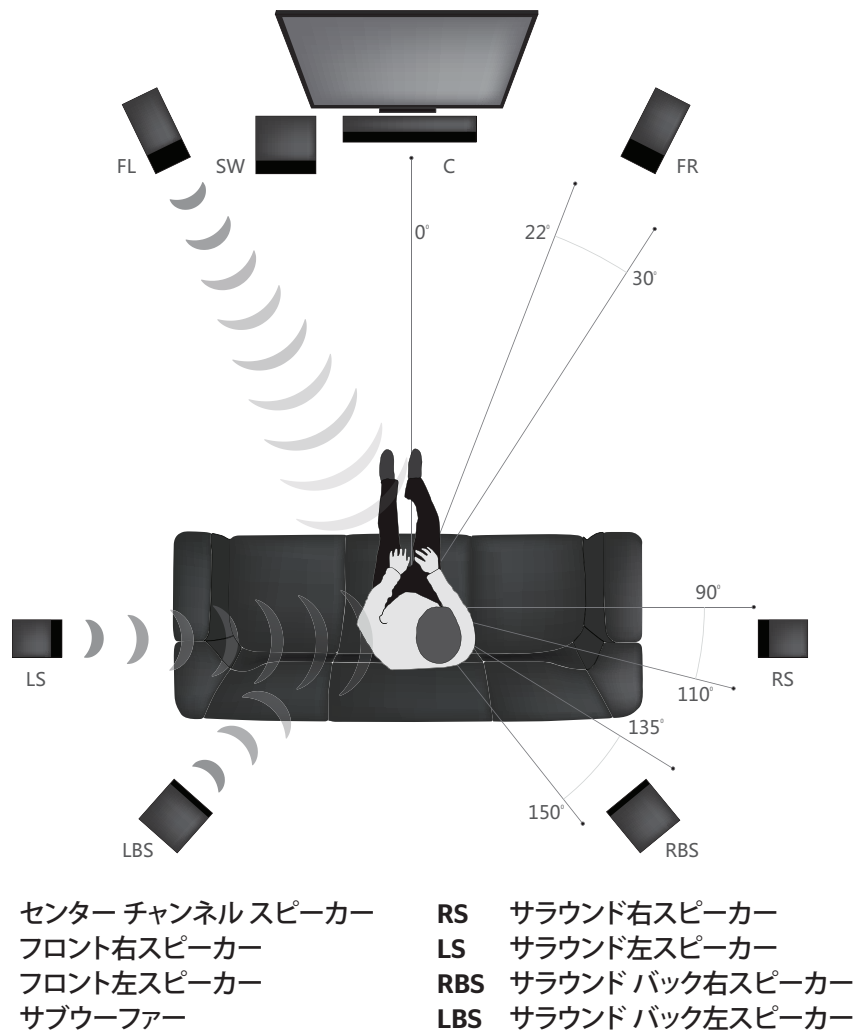
1. On - 電源オンボタン
2. Standby - 装置をスタンバイモードに切り替えます
3. 受聴モード選択 - 受聴モード間を切り替えます
 - A. Stereo - サウンドが左および右スピーカーを通して伝送されます。
 - B. Direct - 入力ソースからのオーディオ信号が、最小処理で直接送信されます。
 - C. DSP - これにより、お好みに応じて様々な受聴シーンを選択することができます。
 - D. Dolby Pro Logic IIX - 7.1チャンネル サラウンド サウンドを再生するために2チャンネル信号ソースを拡張します。自然で途切れのないサラウンド サウンド効果を提供します。また、家庭用ゲームコンソールにおける体験を最適化することができます。2つの異なる設定 (音楽用と映画用) が付属しています。
 - E. Dolby Digital - ドルビー デジタルを持つメディアをサポートし、映画館やコンサートホールにいるようなサウンド効果を提供します。
 - F. Dolby EX - 特殊なドルビー EX マトリクス エンコーディング サラウンド技術を用いて、5.1 CH ソースを 6.1 CH ソースに拡張します。
 - G. Dolby Digital Plus - 特別に HDTV 用に設計されており、最大 48 kHz のサンプルレートの 7.1 CH をサポートします。
 - H. Dolby TrueHD - 新しい Blu-ray および HD DVD ディスク形式の拡張されたストレージスペースに基づいて設計されています。この形式は、最大 48/96 kHz サンプルレートの 7.1 CH および 192 kHz サンプルレートの 5.1 CH をサポートすることができます。
 - I. Neo 6 - このモードでは、7つの異なるマトリクス エンコーディングを用いて、2チャンネル信号ソースを 7.1 CH として再生します。
 - J. DTS - DTSデジタル サラウンド サウンド形式は、5.1 分離チャンネルをサポートし、ハイファイ効果を提供するために、圧縮技術を使用しています。DTS マークの付いたメディアのみをサポートします。
 - K. DTS-ES - このモードは、DTS-ES ディスクリットおよび DTS-ES マトリクス サウンドトラック用に設計されており、DTS-ES 商標の付いたメディアをサポートしています。
 - L. DTS-Master - Blue-ray および HD DVD ディスクの空きストレージスペースを利用するように設計され、48/96 kHz の 7.1 分離チャンネル デジタル オーディオおよび 192 kHz の 5.1 CH をサポートします。
 - M. DIS Hi Res - HDTV 用に設計されたオーディオを高解像度で収集する圧縮技術です。最大 96 kHz サンプルレートの 7.1 CH をサポートします。
4. 入力選択 - それに応じて入力を選択してください
5. 音量調整
6. EQ モード - プリセット EQ 設定を選択します
7. Menu ボタン - オンスクリーンメニューを開きます
8. Exit ボタン - オンスクリーンメニューを終了します
9. Return ボタン - メニューの前画面に戻ります
10. Enter ボタン - オンスクリーンメニュー上の選択を確認します
11. 方向キー - オンスクリーンメニュー上で方向に応じてカーソルを移動します
12. Status - 現在の入力ソースおよび受聴モードを表示します
13. Info - 入力ソースの形式を表示します
14. Dim - 装置のディスプレイ上の明るさを調整します
15. Input +/- - 入力ソースを変更します
16. Mute ボタン
17. MCP-18 のリモート機能
18. DVD/BD プレーヤー制御

接続する

スピーカーの接続

- スピーカーを接続する前に、すべての電源コードを取り外します
- スピーカーの取扱説明書に従います
- 極性が正しく接続されていることを確認します
- コネクタごとに1台のスピーカーを接続してください
- スピーカー ケーブルが長すぎると、サウンド品質に影響を与える恐れがあります
- ケーブルの短絡は、アンプに損傷を与える可能性があります
- ケーブルの芯が装置の背面パネルに接触していないことを確認してください
- 1台のスピーカーに複数のケーブルを接続すると、アンプを損傷する可能性があります

スピーカーの配置



入力/出力デバイスの接続

注:

- デバイスを AVP-18 に接続する前に手順をよく読み、電源を投入する前にすべての接続が正常であることを確認してください。
- 光デジタル入力
 - 光デジタル入力には、光ケーブルを接続する、または、取り外す時に自動的に開閉するアクティブ保護カバーが装備されています
- ケーブルの接続
 - 赤色入力は右チャンネルを表し、白色入力は左チャンネルを表しています
 - ケーブルが最良の接続のため完全に接続されていることを確認してください
 - 干渉を回避するため、オーディオ/ビデオ ケーブルを電源/スピーカー ケーブルから離して配置してください

ルーム イコライゼーションの設定

インテリジェント アコースティック ルーム スキャンには、テスト用マイクが含まれます。これは、自動的に接続されたスピーカーの数、最適な変曲点周波数およびスピーカーと観客との間の距離をテストすることができます。これは、部屋のノイズを捕捉することを通して、ノイズに起因する歪みの問題を解決するために、周波数および時間のしきい値を調整します。また、スキャンシステムは、自動的に EQ を設定することができます。11 セグメントを持つイコライザーは、オクターブ内のバランスを維持することができます。アコースティック スキャンを行う前に、すべてのスピーカーが接続されていることを確認してください。

テスト用マイクの接続

スキャンの前に、パッケージに含まれるテスト用マイクを接続し、背面パネル上のマイクジャックを設定します。マイクをメイン受聴位置に、かつ、着席する際、リスナーの耳に平行になるように配置します。マイクがセンサーの上向きにまっすぐに立っていることを確認します。テストの精度を確保するために、アコースティック スキャンを行う時に、マイクを保持したり、触れたりしないでください。

1. オンスクリーン メニューを開き、設定に進みます。
2. オートルーム EQ オプションを選択します。
3. 画面上の指示に従い、テスト プロセスを完成させてください。